

学術俯瞰講義補足資料

ベトナム：東アジアか東南アジアか？

2015年4月17日 古田元夫

(1) ASEANの一員としてのベトナム

ASEAN (東南アジア諸国連合) 1967年結成、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン

冷戦時代はベトナムと対立

1995年 ベトナム、ASEANに加盟

ASEANが東南アジア地域全体を包摂するのに大きな意味

ベトナム＝東南アジアの一員という認識、定着

(2) 伝統的には中華世界の一員

南国＝ベトナム

北国＝中国を意識したアイデンティティ

中華世界の文明国 (周辺は蛮夷の世界)

北国＝中国とは明確に区別された領域、文化、王朝、歴史をもつ独自の存在

漢字文化圏、儒教、科挙試験等々

(3) フランス植民地支配形成の意味

ベトナムを中華世界から切断

中国の宗主権を否定

科挙制度の廃止、ベトナム語のローマ字表記法の普及＝エリートの漢字からの切断

カンボジア・ラオスとともにインドシナ連邦を結成

(4) ベトナムを中国を中心とする軌道におしとどめた冷戦

フランスとの戦争 (インドシナ戦争 1945～1954)

ベトナム戦争 (1954～1975)

いやでも、北方の大国＝中華人民共和国に頼らざるをえなかったベトナム

ベトナム戦争の終結

中国中心の軌道からはずれるチャンス・・・中越戦争

冷戦構造の崩壊・・・ベトナム ASEANへ急接近

(5) 東南アジアの中のベトナムのフラストレーション

伝統との断絶

ホー・チ・ミン 胡志明 Hồ Chí Minh

限定された漢字教育復活論

東北アジアと東南アジアを包摂する東アジア共同体の浮上

ベトナムにとっては幸い

二つのアジアをつなぐベトナム